要保存
施工者用

いつも人々にやさしく輝いています
DIPPER

安心のバスタイムを
ご家族のために

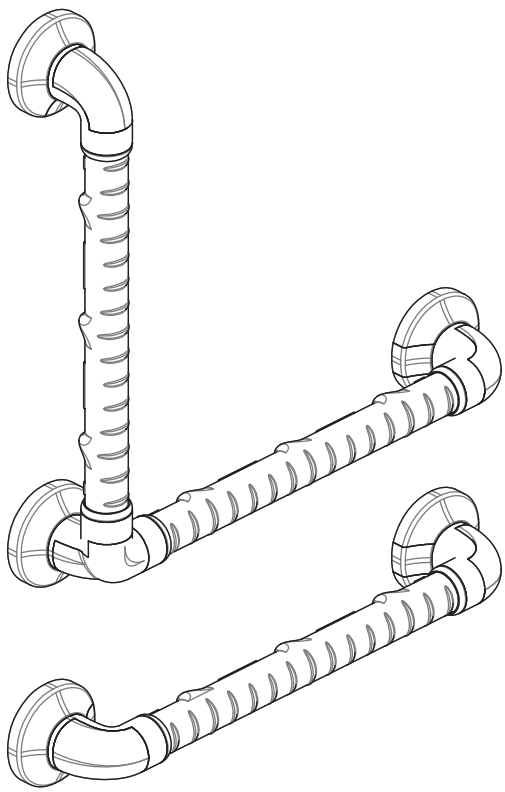
コンクリート下地
モルタル壁面

コンクリート下地
塗装仕上壁面

木下地壁面

ベストセレクトバー
モルタル壁面手すり
ビス止め式固定工法

施工説明書



この度は、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に「安全上の警告・注意」、「取付け上の警告・注意」をよくお読みの上、確実にお取付けください。

目　次

施工説明書
- 安全上の警告・注意 …… 1
- 保管・管理について …… 1
- 取付け上の警告・注意 …… 2
- 取付け前のご注意 …… 3
- 外寸法と素材 …… 4

取付手順
- 部材の確認 …… 5
- 取付手順 …… 6～13
- 取付け後の確認 …… 14

L型　組立補足 …… 裏表紙
連続型　組立補足 …… 裏表紙

取付けできない壁面 ※取付け可能な壁面以外に取付けしますと、強度不足等により手すりが外れ重大事故につながります。	・ユニットバスのパネル壁面には取付けないでください。 ・下地のない壁面には取付けないでください。 ・ゆがんだ壁面には取付けないでください。 ・凹凸のある壁面には取付けないでください。 ・目地、継目、段差のある場所には取付けないでください。 ・フィルム貼りや養生シートの付いた壁面には取付けないでください。 ・指定の壁面以外には取付けないでください。

施工業者の方へ

「取付け上の警告・注意」をよくお読みになり、取付手順通りに正しく取付けてください。
取付け後、ご利用者に「取扱い」及び「安全上の警告・注意」、「ご使用上の警告・注意」をよく説明した上、取扱説明書をご利用者にお渡しください。この施工説明書は、施工業者/取扱店で保管・管理してください。

安全上の警告･注意

安全のため必ずお守りください。

これから示す内容は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつく安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●内容を無視した使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示と意味

（下記は絵表示の一例です。）

⚠ 警 告	この表示は「死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示は「傷害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

⃠	この内容はしてはいけない「禁止」内容を示しています。
❗	この内容は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠ 施工業者様へ	
❗	製品の施工は必ず、施工業者で行ってください。 ご利用者による施工、取外しは事故の原因となります。
	手すりの取外し、施工ミスなどによる再使用はしないでください。 取付け位置など、十分配慮し施工を行ってください。
	取付け前に、この施工説明書の内容、取付手順をよく読み、理解した上で施工を行ってください。
	取付け壁面に十分な強度があり、本製品の取付けが可能であることを確認してください。
	施工時に出た、施工資材、専用工具、パッケージ類はお持ち帰りください。
	施工終了後、ご利用者様へ「取扱説明書」をよく説明した上で手渡し、「施工説明書」は施工業者／取扱店で保管してください。

保管･管理について

安全のため必ずお守りください。

❗ 必ず実行	製品を高温の場所に放置しますとコーキング剤の劣化や粘着部の劣化が促進されます。 高温になる場所、車両などへの放置、直射日光が当たる場所への放置は避け、湿気、ほこり等に影響されない30℃以下が保たれる場所で製品の保管･管理をしてください。

取付け上の警告･注意

安全のため必ずお守りください。

この施工説明書は、製品を安全に正しく取付け、お使いいただき、事故や家財の破損を未然に防止するために必ずお読みになり、手順どおりに取付けてください。

⚠ 警 告

必ず実行

取付け壁面の強度を確認してください。

ヒビや割れ、空洞（叩いて確認）がないこと。
壁の破損や手すりが外れ重大事故につながります。

壁面がフラットであることを確認してください。

凹凸や段差があると強度を確保できません。
取付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認してください。

必ずコーキング剤を塗布してください。

設置面に水が浸入し手すりが外れ重大事故につながります。

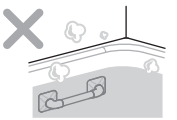
禁 止

手すりの取外し、再使用はしないでください。

取付け位置には十分配慮し施工を行ってください。

浴槽内や常時水に浸る場所には取付けないでください。

強度・安全性に問題があり重大事故につながります。



下地の弱い壁面には取付けないでください。

強度不足や壁面がはがれ、手すりが外れ重大事故につながります。

廊下、玄関、階段など浴室以外に取付けないでください。

強度不足や壁面がはがれ、手すりが外れ重大事故につながります。

⚠ 注 意

禁 止

補助手すり以外の用途には使用しないでください。

強度・安全性に問題があり重大事故につながります。

高温になる浴室や直射日光の当たる場所には取付けないでください。

手すりの破損、劣化の原因となります。

浴室乾燥機･暖房機が設置してある浴室では、温風が直接手すりに当たらない場所に設置してください。

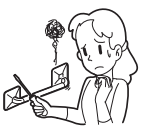
手すりの破損、劣化の原因となります。

手すりに強い力が加わった状態で無理に取付けないでください。

手すりの破損、取付け不良の原因となります。

指定の工具以外は使用しないでください。

手すりの破損、取付け不良の原因となります。



必ず実行

指定の取付け方法を守って手すりを取付けてください。

取付け不良の原因となります。

取付け終了後、手すりにガタツキがないことを確認してください。

手すりにガタツキがあると手すりが外れ重大事故につながります。

取付け前のご注意

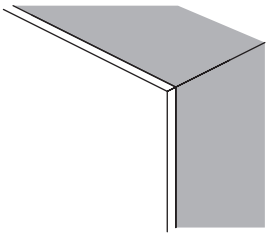
安全のため必ずお守りください。

手すりを取付ける壁面に十分な強度があることを確認してください。

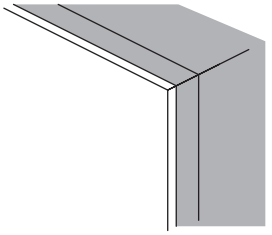
※当社が指示している壁面以外には取付けないでください。

○ 取付け可能な壁面

・コンクリート下地のある屋内壁面（モルタル壁面・塗装仕上壁面）



コンクリート
モルタル仕上げ



コンクリート
塗装仕上げ

・木下地（厚み12mm以上）のある屋内壁面

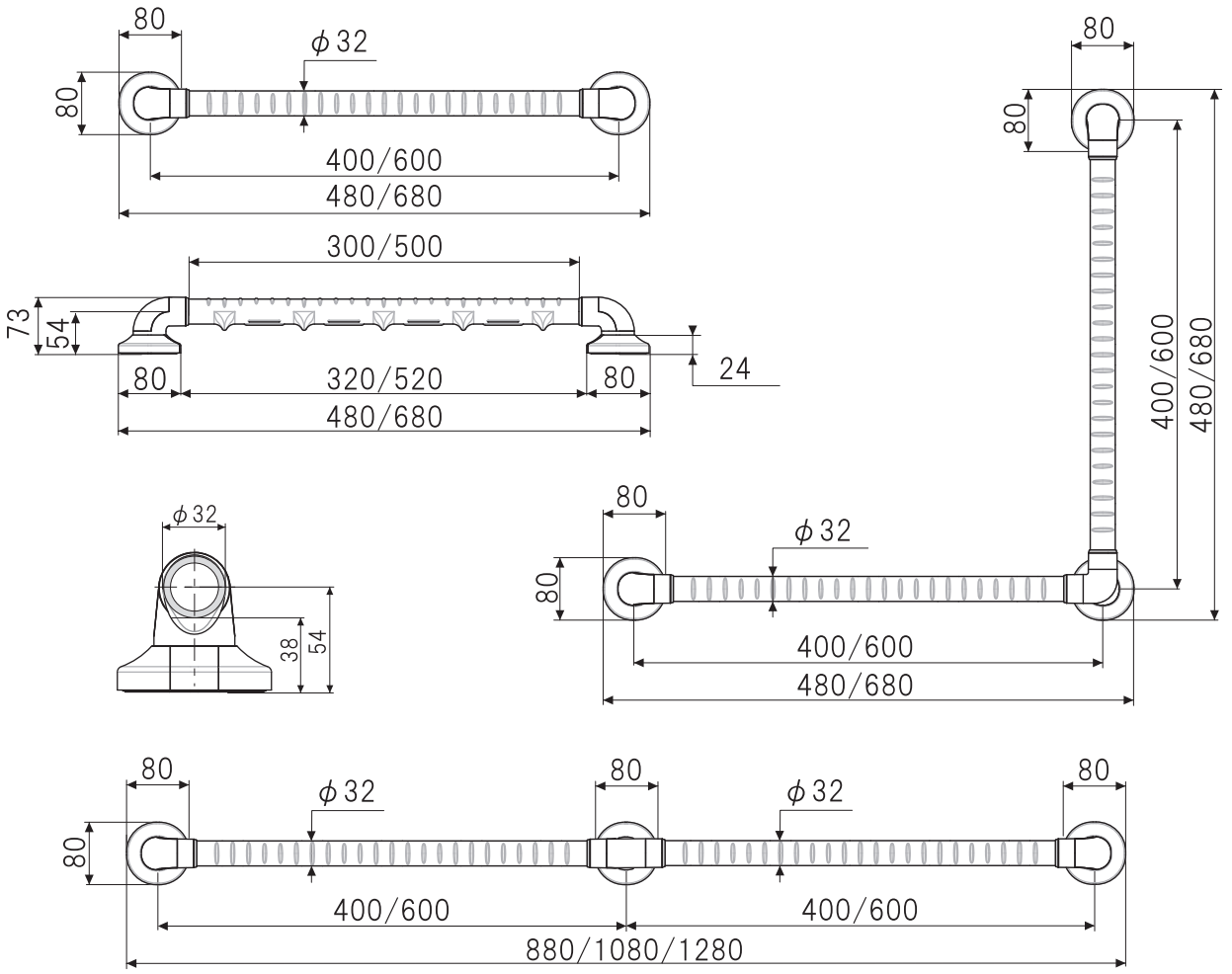
⚠ 警告	必ず強度のある壁･建築構造体に取付けてください。

✕ 取付けできない壁面

・ユニットバスのパネル壁面には取付けないでください。
・下地のない壁面には取付けないでください。
・ゆがんだ壁面には取付けないでください。
・凹凸のある壁面には取付けないでください。
・目地、継目、段差のある場所には取付けないでください。
・フィルム貼りや養生シートの付いた壁面には取付けないでください。
・指定の壁面以外には取付けないでください。

⚠ 警告	取付け可能な壁面以外に取付けしますと、強度不足等により手すりが外れ重大事故につながります。

外寸法と素材



ストレート	品番 UB-400-10	**モルタル壁面手すり ストレート 400** 幅480㎜×奥行80㎜×高さ73㎜
	品番 UB-600-10	**モルタル壁面手すり ストレート 600** 幅680㎜×奥行80㎜×高さ73㎜

L型	品番 UB-440-10	**モルタル壁面手すり L型 400×400** 幅480・480㎜×奥行80㎜×高さ73㎜
	品番 UB-460-10	**モルタル壁面手すり L型 400×600** 幅480・680㎜×奥行80㎜×高さ73㎜
	品番 UB-660-10	**モルタル壁面手すり L型 600×600** 幅680・680㎜×奥行80㎜×高さ73㎜

連続型	品番 UB-404-10	**モルタル壁面手すり 連続型 400+400** 幅880㎜×奥行80㎜×高さ73㎜
	品番 UB-406-10	**モルタル壁面手すり 連続型 400+600** 幅1080㎜×奥行80㎜×高さ73㎜
	品番 UB-606-10	**モルタル壁面手すり 連続型 600+600** 幅1280㎜×奥行80㎜×高さ73㎜

材質	
グリップ	・アルミパイプ ・エラストマー
ビス止めベース	・粘着シート ・ABS樹脂 ・ステンレス
ベースカバー ブラケット エンドカバー ブラケットリング アジャスター	ABS樹脂
M8ナイロンナット 平座金 ボタンボルト ビス	ステンレス
ナイロンプラグ	ナイロン樹脂
コーキング剤	シリコーン系

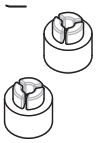
手順 1 部材の確認

取付け前に、次の部材があることを確認してください。

取付手順を施工前に熟読し十分工程を理解した上、手順に従って取付けを行ってください。

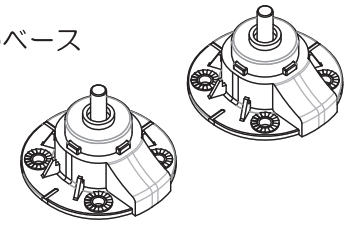
① 手すり部（グリップ　エンドブラケット・リング）

② アジャスター

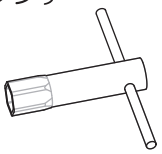


６００タイプは手すりにセットされています。

③ ビス止めベース



④ BOXレンチ



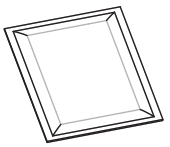
⑤ 4㎜レンチ

⑥ 平座金

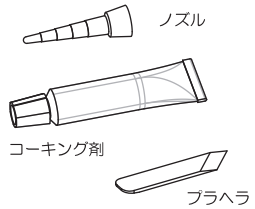
⑦ M8ナイロンナット（固定用）

⑧ ナイロンプラグ

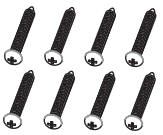
⑨ アルコール（壁面用）



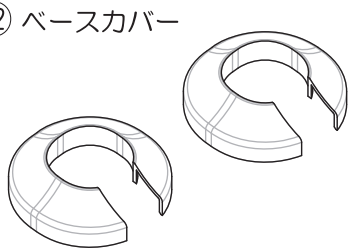
⑩ コーキング剤



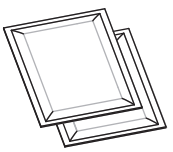
⑪ ビス



⑫ ベースカバー



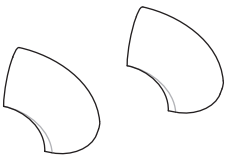
⑬ アルコール（拭取用）



部材名称	入数（ ）内Ｌ型･連続型 入数	
① 手すり部	1	（２）
② アジャスター	2	（３）
③ ビス止めベース	2	（３）
④ BOX レンチ	1	
⑤ 4 ㎜レンチ	1	
⑥ 平座金	2	（３）
⑦ M8 ナイロンナット（固定用）	2	（３）
⑧ ナイロンプラグ	8	（12）
⑨ アルコール（壁面用）	1	
⑩ コーキング剤セット	**1 セット**	
● コーキング剤	1	
● ノズル	1	
● プラヘラ	1	
⑪ ビス	8	（12）
⑫ ベースカバー	2	（３）
⑬ アルコール（拭取用）	2	（３）
⑭ エンドカバー	2	
⑮ ボタンボルト	—	（２）
⑯ L 型またはセンターカバー	—	（１）
⑰ L 型またはセンターブラケット	—	（１）
◇ 取扱説明書	1	
◇ 施工説明書	1	
◇ 日常点検シール	1	

ストレート

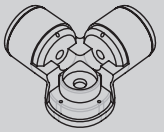
⑭ エンドカバー



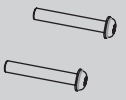
Ｌ型

⑯ L型カバー

⑰ L型ブラケット



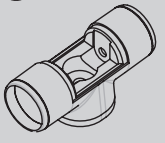
⑮ ボタンボルト



連続型

⑯ センターカバー

⑰ センターブラケット

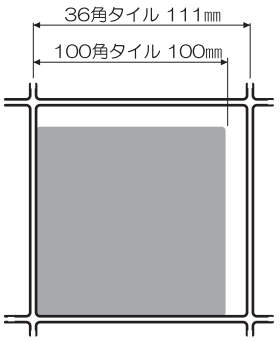


施工時に出た、施工資材、専用工具、パッケージ類はお持ち帰りください。

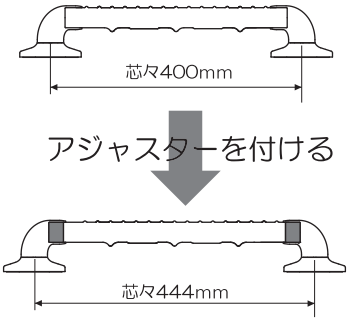
手順2 手すりサイズの組合せ

必要工具　⑤ 4㎜レンチ

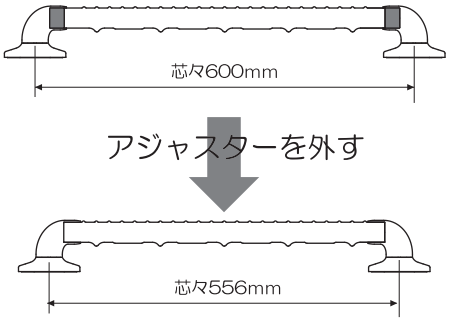
必要部材　② アジャスター

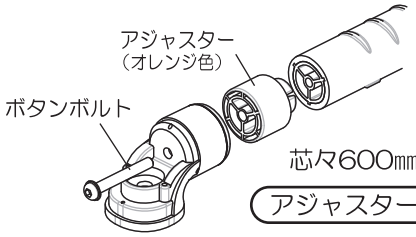


400㎜サイズでは目地にかかる場合。



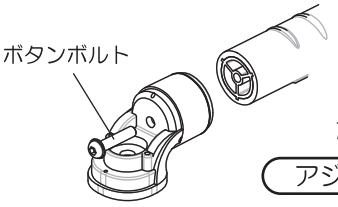
600サイズでは目地にかかる場合。





芯々600㎜　芯々444㎜

アジャスターを使用する場合



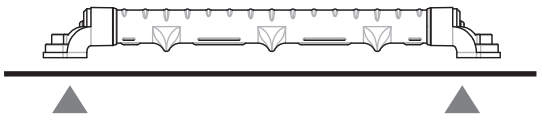
芯々400㎜　芯々556㎜

アジャスターを使用しない場合

手順3 平行を確認する

必要工具　⑤ 4㎜レンチ

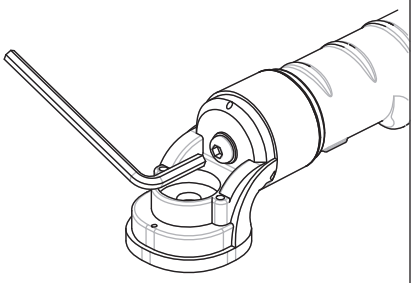
平行になっていることを確認してください。



ブラケットとグリップの間に隙間があると取付けピッチにズレが生じます。

ボルトを最後まで締め切ってください。

ボルトを締めてください。

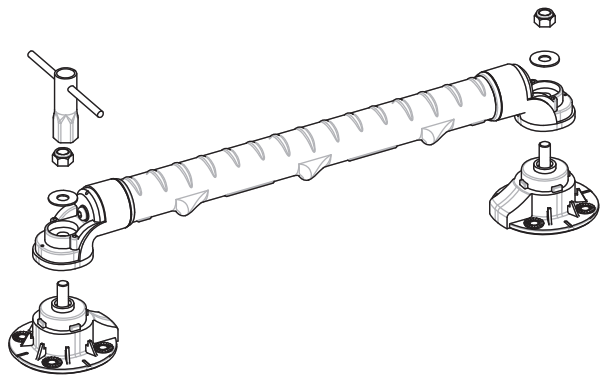


手順4 手すりの組立

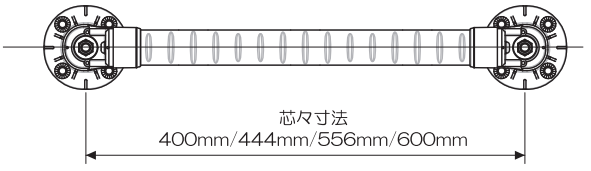
必要工具　④ BOXレンチ

必要部材　① 手すり部
⑥ 平座金×2
⑦ M8ナイロンナット×2
（固定用）

BOXレンチでベースと手すり部をしっかり固定します。

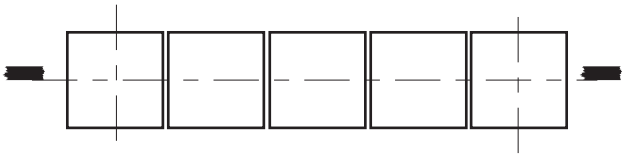


組立寸法を確認してください。



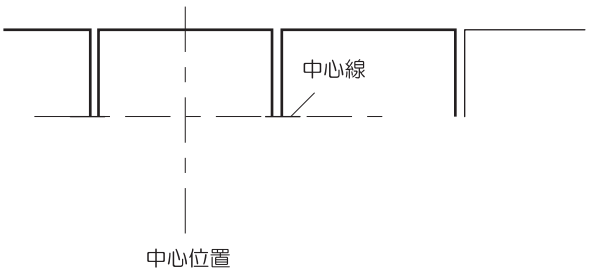
手順5 取付け位置の決定

①取付け位置寸法を確認してください。

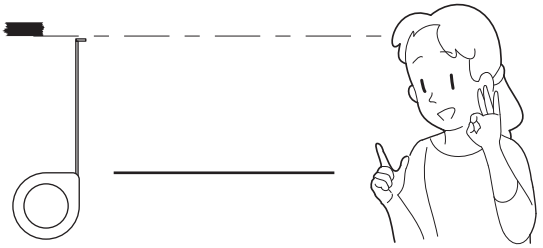


②タイルの目地にかからないように
マスキングテープなどで印を付けて
中心線を印してください。

取り付け位置のセンターライン
がわかる印をつけてください。



③取付け位置に手すりををあて、目地や
継目にベース設置面がかからない
ことを確認してください。



●メジャーなどを利用し平行・垂直などを
十分に確認してください。

ポイント

ご利用者様と十分検討の上、取付け
位置を決定してください。

手順6 アルコールでの清掃

付属のアルコールシート1枚で汚れ、脂分をよく
拭き取ってください。

必要部材　⑨ アルコール

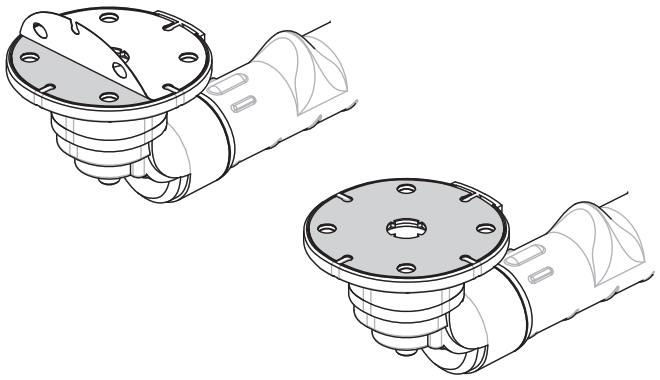
注 意

石鹸などの界面活性剤や脂分が付着していると、強度不足により
手すりが外れ重大事故につながります。

アルコール

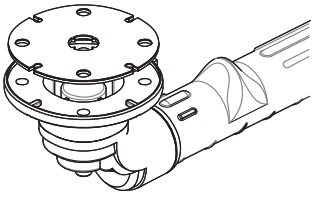
手順 7 ベース剥離紙の取外し

ベース裏面の粘着シート、剥離紙をはがします。



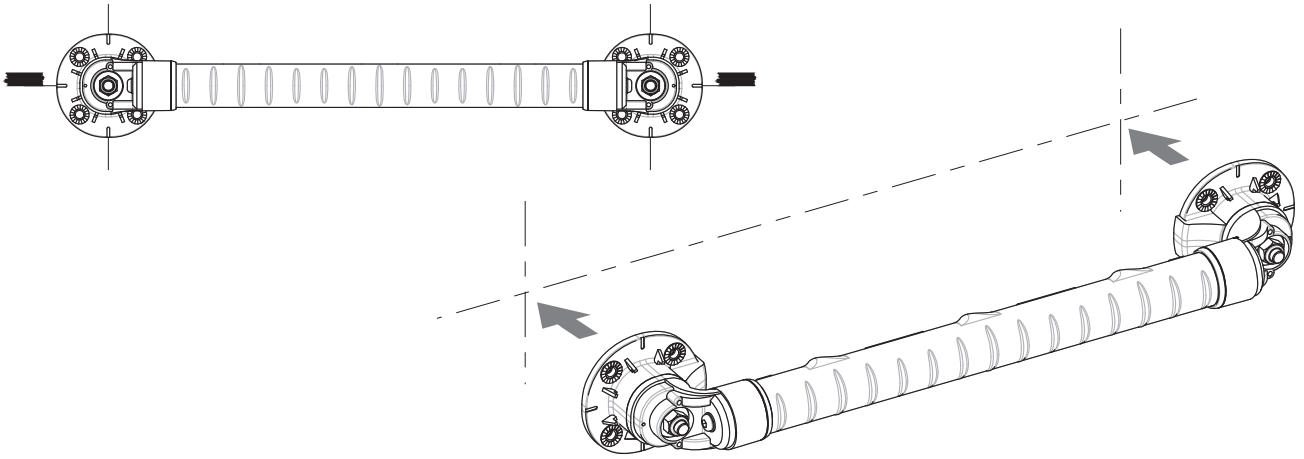
注 意	接着面に汚れ、ホコリなどが付着しないように注意してください。

裏面のシール材が外れている場合はベースに合わせ取付けてください。



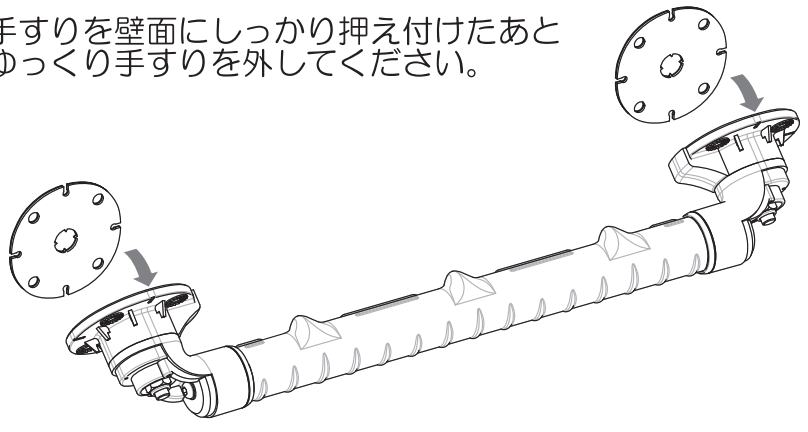
手順 8 壁面への位置合わせ

中心線に合わせて手すりを壁面に貼付けます。

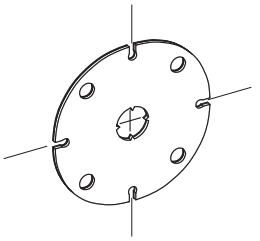


手順 9 手すりの取外し

手すりを壁面にしっかり押え付けたあとゆっくり手すりを外してください。



壁面にシール材が貼付き残った状態になります。



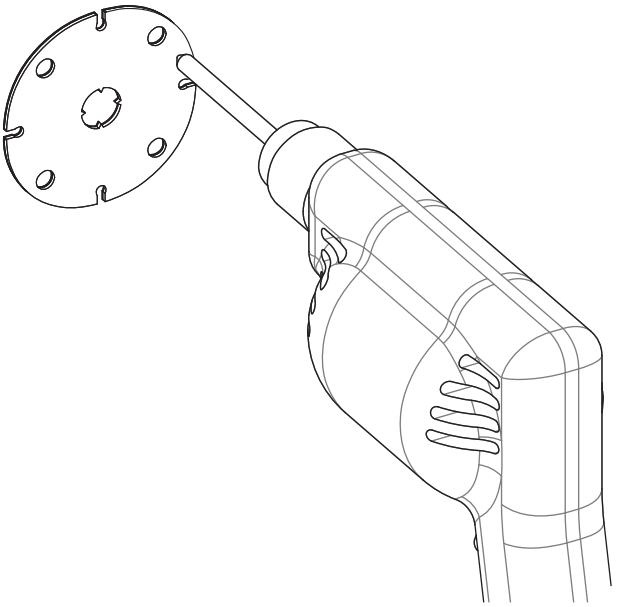
中心線に合っていることを確認してください。

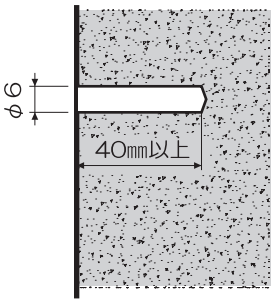
手順10 壁面への穴あけ

コンクリート下地の場合

コンクリート下地への穴あけ

アンカードリル刃6㎜を使用して
深さ40㎜の下穴を開けてください。



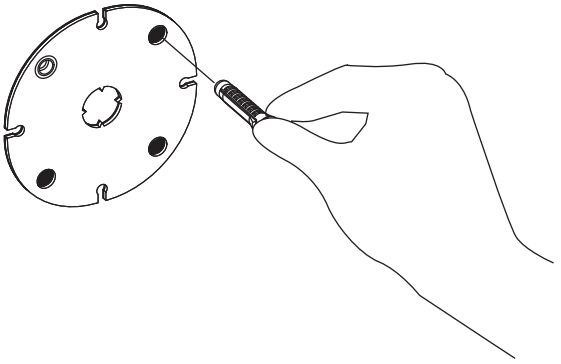


穴径　　φ6
穴深さ　　40mm以上

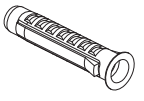
※コンクリート・タイル用の刃
　を使用してください。

コンクリートにφ6mm、深さ40mmの穴を開けることのできる
ドリルを使用してください。
ドリルのサイズが大きすぎたり芯ブレを起こすとベースの確実な
固定ができず、ガタツキや外れる原因となります。

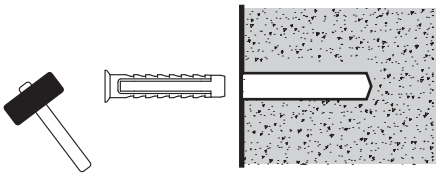
ナイロンプラグを差し込んでください。



必要部材　⑧ ナイロンプラグ



×8



ナイロンプラグを差し込む前に穴をきれいにしてください。

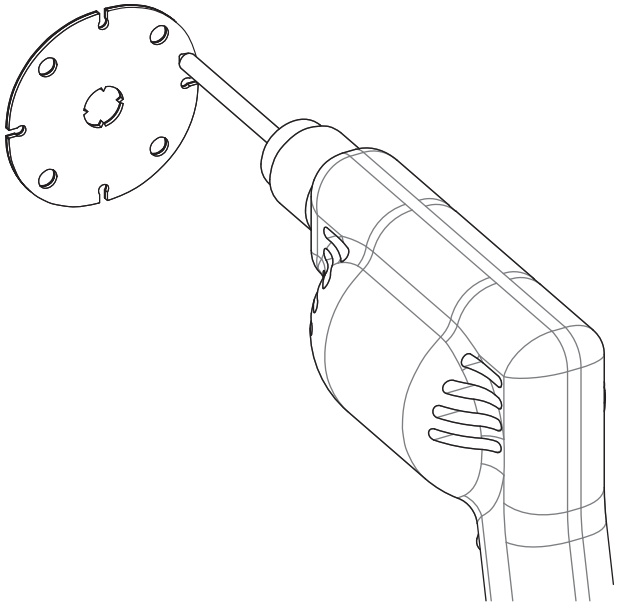
注 意

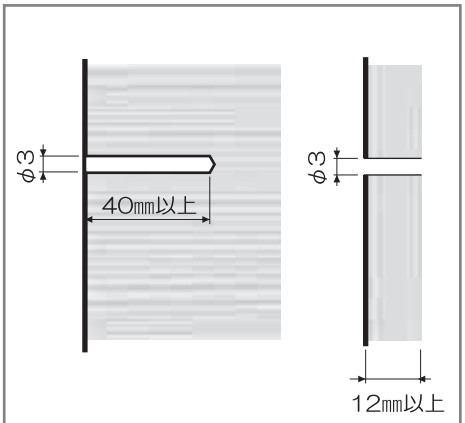
ナイロンプラグが奥まで入り込まずに施工すると、強度不足に
より手すりが外れ重大事故につながります。

木下地の場合

木下地への穴あけ

ドリル刃3㎜を使用して
深さ40㎜の下穴を開けてください。





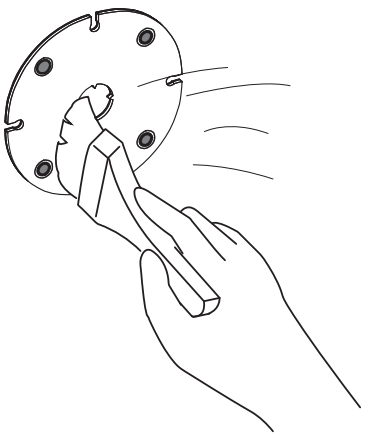
穴径　　φ３
穴深さ　　40mm以上

板の場合 12㎜以上の合板・コンパネ

下地素材にφ３mm、深さ40mmの穴を開けることのできるドリルを使用してください。
ドリルのサイズが大きすぎたり、芯ブレを起こすとベースの確実な固定ができず、ガタツキや外れる原因となります。

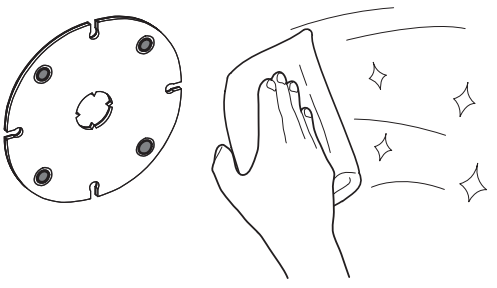
手順 11 壁面の清掃

下穴加工時に出た、キリ屑や汚れをハケなどで除去してください。



穴の汚れを除去してください。

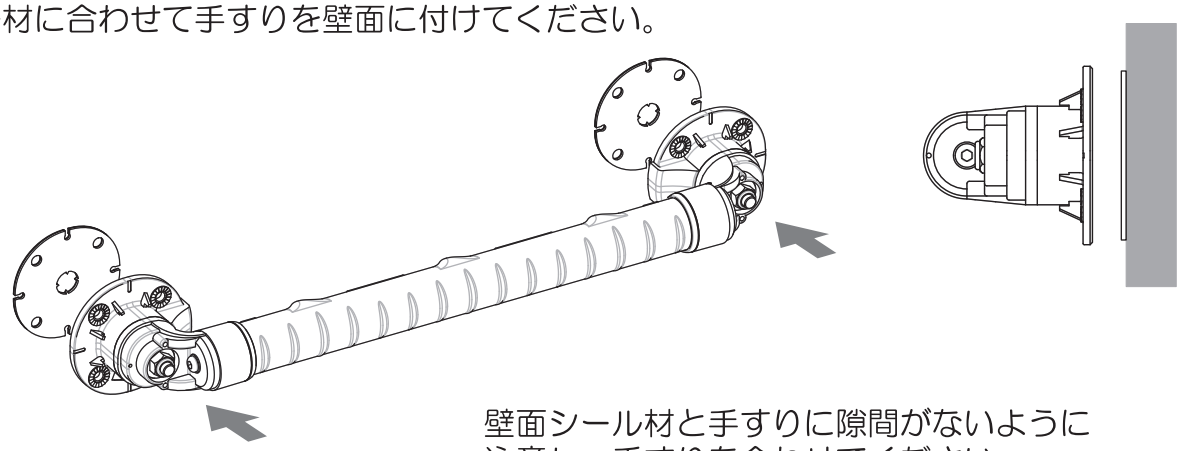
取付け壁面の汚れ、水分をよく拭き取ってください。



汚れや水分が残っていると強度不足により手すりが外れ重大事故につながります。

手順 12 手すりを合わせる

シール材に合わせて手すりを壁面に付けてください。

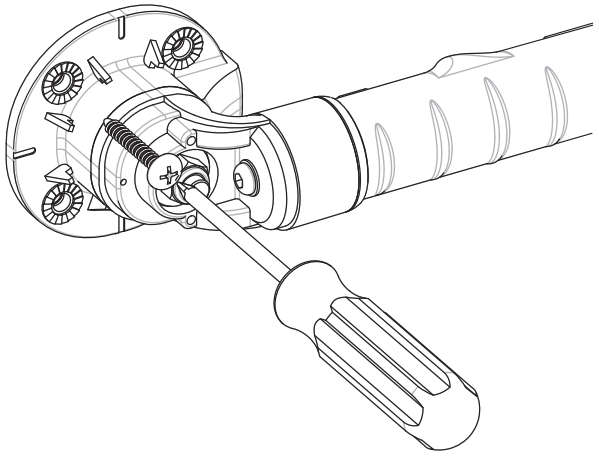


壁面シール材と手すりに隙間がないように
注意し、手すりを合わせてください。

手順 13 手すりのビス固定

必要部材　⑪ ビス　×8

手すりを強く押付けながらプラスドライバーで付属のビスをビス頭がベースに接するまで締めてください。



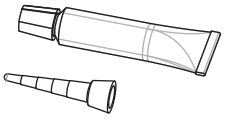
ビス頭が浮いていないことを
確認してください。

全てのビスを締め込んだら各ビスを半回転（180度）増し締めしてください。

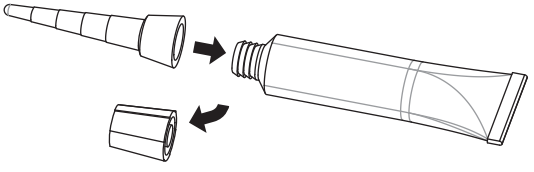
半回転以上締めすぎるとビスが空転する恐れがありますのでご注意ください。

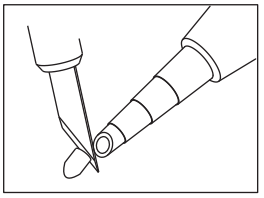
手順 14 コーキング剤のセット

必要部材　⑩ コーキング剤



コーキング剤のキャップを外し、ノズルに差し換えてください。



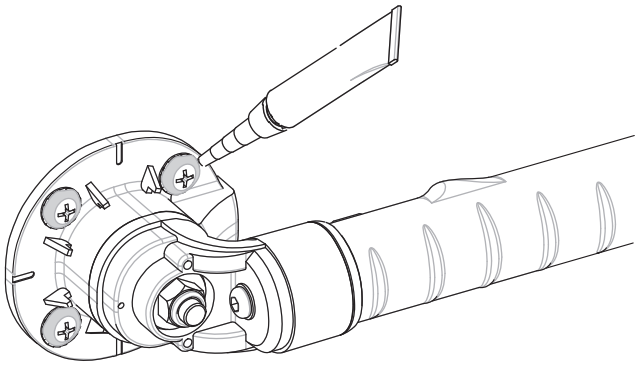


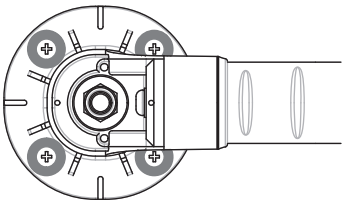
ノズルの先端を斜めに
カットしてください。

手順15 ビス部へコーキング剤塗布

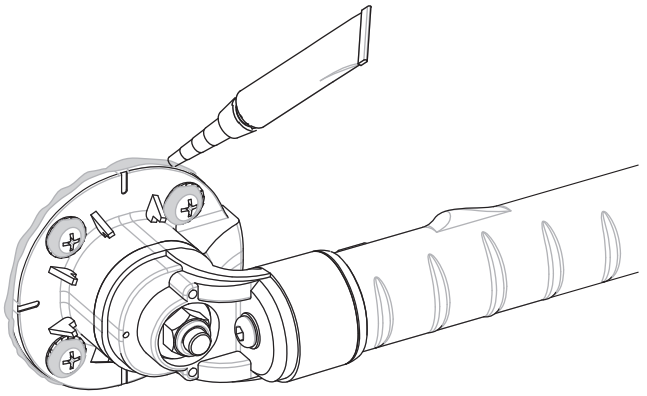
必要部材　⑩ コーキング剤

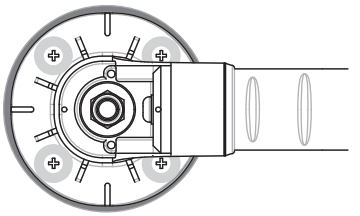
ベースの固定穴全てを締め付けていることを確認し、
もう一度ビスの上からコーキング剤を注入してください。





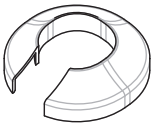
ベースの外周部にコーキング剤を塗布してください。



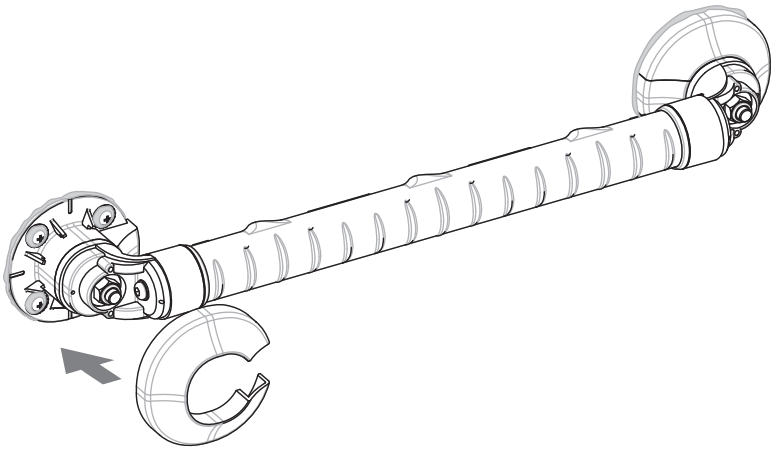


手順16 ベースカバーの取付け

必要部材　⑫ ベースカバー



ベースカバーをベースに押え込み、取付けてください。

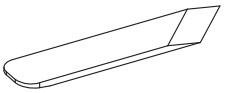


ベースカバーの周囲に隙間無く
コーキング剤がはみ出している
ことを確認してください。

周囲にコーキングの隙間がある
場合は、コーキング剤で隙間を
埋めてください。

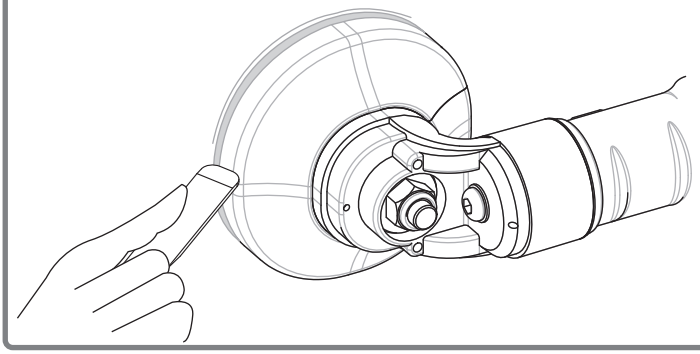
手順17 余分なコーキング剤の除去

必要工具　●プラヘラ



コーキング剤セットに同梱

付属のプラヘラで、余分なコーキング剤を取り除きます。
ベース周囲に隙間無くコーキングしてください。



プラヘラの使い方

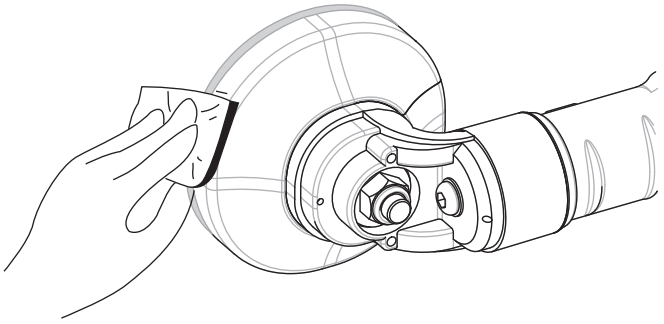
壁面とカバーにプラヘラの角を合わせ、引くように使うと、余分なコーキング接着剤がプラヘラに溜まり除去できます。

手順18 コーキング剤の拭き取り

必要部材　⑬ アルコール×２

ベース1個に
対して1枚使用

ベース部や壁面に付いた余分なコーキング剤を付属のアルコール1枚できれいに拭き取ってください。



ベースカバー、壁面に付着したコーキング剤をきれいに拭き取ってください。

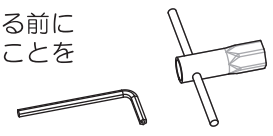
ベース周囲のコーキングに隙間が無いことを確認してください。

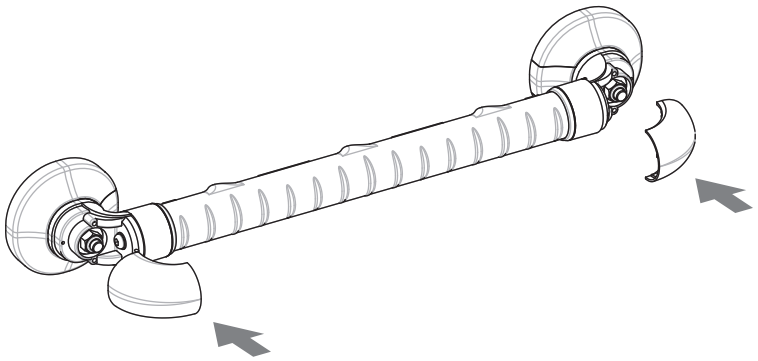
手順19 カバーの取付け

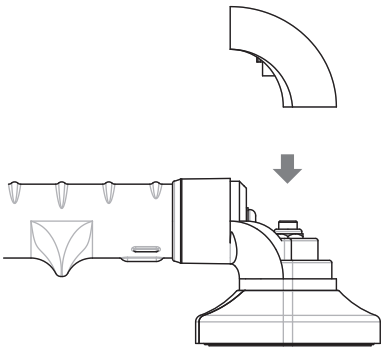
必要部材　⑭ エンドカバー×２

ボルト・ナットが締まっていることを確認し、エンドカバーを取付けてください。

エンドカバーを取付ける前にボルトが締まっていることを必ず確認してください。







手すりの取付けに問題がないか再度、確認してください。

手順20 日常点検シールの貼付け

必要部材　日常点検シール

施工業者名を記入した「日常点検シール」を貼ってください。

● 日常点検シールの記入･取付けは必ず施工業者が行ってください。
● 日常点検シールは必ず、手すり取付終了後、見やすい位置へ貼ってください。
● 取付け面の汚れ･湿気をよく拭き、貼ってください。

日 常 点 検

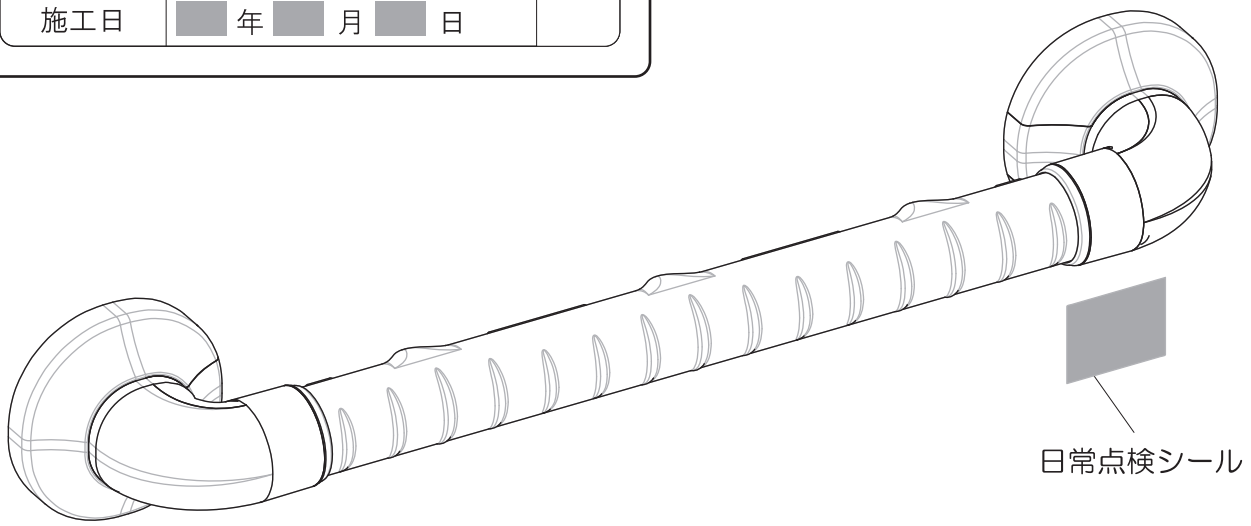
● 手すりにがたつきはありませんか？
● ベース部が浮いていませんか？
● ヒビ割れ、破損がありませんか？

異常がある場合は、ご使用をお止めになり
下記連絡先にご相談ください。

施工業者	TEL　（　）	施工者印
施工日	年　月　日	

日常点検シールの貼り付け

日常点検シールに施工業者名、連絡先、取付け日時を明記の上、手すり付近の壁面に貼付けてください。



手順21 取付け後の確認

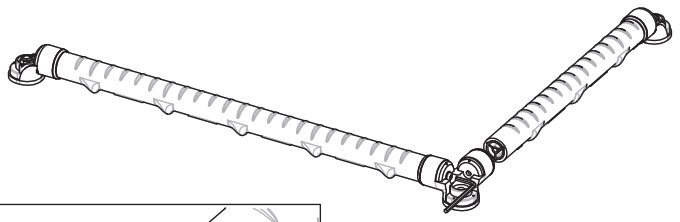
手すりの施工に問題がないか確認を行ってください。

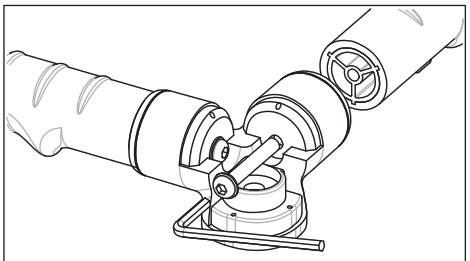
確　認	処　置
ボルト類はしっかり締めましたか？	緩みのある場合、再度締めなおしてください。
手すりにガタツキはありませんか？	壁面強度が不足していると思われる場合は設置を中止してください。
コーキング部に隙間はありませんか？	余ったコーキング剤を塗布し、隙間を埋めてください。
日常点検シールを貼りましたか？	日常点検シールは（連絡先など記入後）必ず貼ってください。
カバー類を取付けましたか？	取付けていない場合は、手順を参考にし取付けてください。
利用者へ注意事項などを説明しましたか？	取扱い注意事項を利用者に説明し、よく理解頂いてください。

L型 組立補足

取付手順はストレートの手順
を参照し施工を行ってください。

指定の組合せでL型、逆L型にグリップ部と
L型ブラケットをセットしてください。



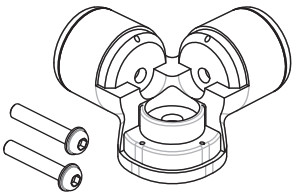


水平に注意し組立てください。

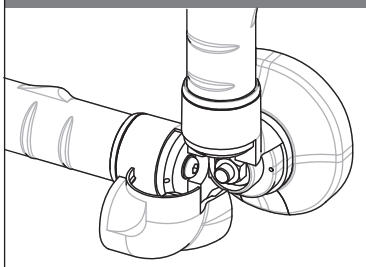
付属のボタンボルトを4㎜レンチで
締めて固定してください。

必要工具　⑤ 4㎜レンチ

必要部材　① 手すり部×２
⑮ ボタンボルト×２
⑰ L型ブラケット



必要部材　⑯ L型カバー

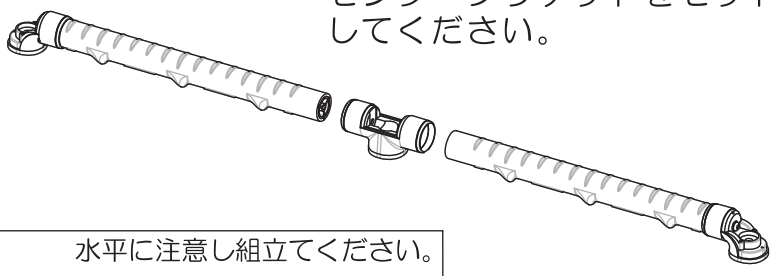


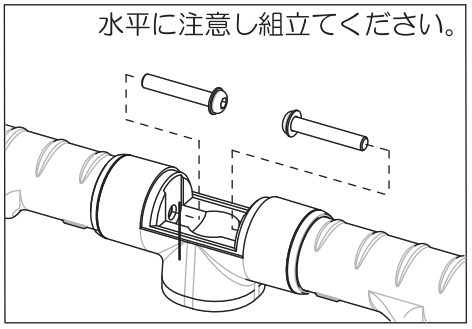
カバーの取付け

連続型 組立補足

取付手順はストレートの手順
を参照し施工を行ってください。

指定の組合せでグリップ部と
センターブラケットをセット
してください。



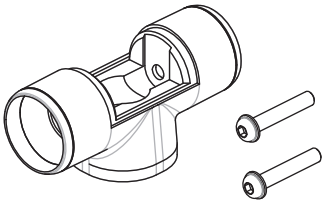


水平に注意し組立てください。

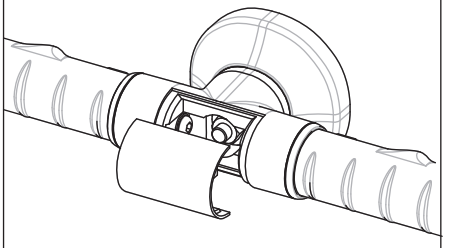
付属のボタンボルトを4㎜レンチで
締めて固定してください。

必要工具　⑤ 4㎜レンチ

必要部材　① 手すり部×２
⑮ ボタンボルト×２
⑰ センターブラケット



必要部材　⑯ センターカバー



カバーの取付け

DIPPERホクメイ株式会社　〒544-0001大阪市生野区新今里2-4-1　TEL06-6754-0625（代表）